

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会

第 1 回事業最適化部会

日時：令和 7 年 5 月 28 日（水）15 時から

場所：都庁第一本庁舎 33 階特別会議室 N4 及びオンライン

議事次第

1 開会

2 審議事項

（１）事業最適化部会について

3 閉会

1. 事業最適化部会の設置について

- G C T の持続的な開催に向けて、これまで実行委メンバー、公認会計士で構成する内部P Tで経費を精査
- 令和7年度から実行委員会に「**事業最適化部会**」を設置し、事業の課題や協賛獲得戦略、今後の方向性を検討

2. 主な検討の視点

- THE ROAD RACE TOKYO（7月13日）、レインボーライド（12月7日）の实地視察等による分析、検証
- 国内外の大会、他路上競技等と比較し、運営方法や規模、収入増に向けた協賛金獲得戦略等を検討
- 大会開催後に実施する関係者ヒアリング結果等も参考に、今後の方向性等を検討

3. 部会メンバー

氏名	所属等
【部会長】 中村 賢二	東京都自転車競技連盟会長
石村 光代	公認会計士
奥村 武博	公認会計士、アスリートデュアルキャリア推進機構代表理事
柴田 光	世界陸上財団ロード競技担当課長
グラハム・ジョーンズ	ツールド九州レースディレクター、THE ROAD RACE TOKYO アドバイザー
杉山 敬宏	NPO法人宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース協会 副理事長
早野 忠昭	東京マラソン財団理事長
松倉 信裕	日本学生自転車競技連盟理事長
松本 泰介	早稲田大学スポーツ科学学術院教授、弁護士

（敬称略、順不同）

4. 今後の予定

令和7年5月28日	第1回	GCTの現状共有、改善項目検討
6月	第2回	THE ROAD RACE TOKYOの視察項目確認、改善項目検討
7月13日	第3回	THE ROAD RACE TOKYOの視察 (事務局にて大会関係者ヒアリングを実施)
8月	第4回	THE ROAD RACE TOKYOの視察結果の共有 事務局が実施した大会関係者ヒアリングの結果の共有、改善項目検討
9月	第5回	GCT実行委員会への提案内容まとめ(中間まとめ)
11月	第6回	レインボーライドの視察項目確認、改善項目検討
12月7日	第7回	レインボーライドの視察 (事務局にて大会関係者ヒアリングを実施)
令和8年1月	第8回	レインボーライドの視察結果の共有 大会関係者ヒアリングの結果の共有、改善項目検討
2月	第9回	GCT実行委員会への提案内容まとめ(最終まとめ)

※開催月及び検討項目については予定

5. これまでの取組について

事業最適化検討チームにおける検討（令和5年度）

経費等の最適化を目的として、令和5年度に計3回開催。THE ROAD RACE TOKYO及びレインボーライドに係る費用項目の単価調査等を実施

【主な成果・提言】

- 検討チームにて**調査した厚労省や建設物価資料等の単価を参考**として、令和6年度の委託発注の積算・仕様書に活用し、**数千万円のコスト削減を実現**
- 類似イベントでの全体経費における、広報費等の割合を比較し、一定程度の妥当性を確認
- 両大会の実績を踏まえ、大規模かつ広域的な路上規制や市街地レースなど、**安全面・運営面などの観点から、一定の必要経費は不可欠**
- 全体業務管理の人件費は、イベント運営のマネジメントコストであり、確実な大会開催に向けては必要
- 既存の計画の活用や安全対策の更なる効率化など、**継続して経費削減に努める必要有り**

6. 検討の視点

視点① THE ROAD RACE TOKYO・レインボーライドの開催のあり方、都民支持について

- ・開催場所
- ・開催時期・時間
- ・周回コースの設定 (THE ROAD RACE TOKYO)
- ・イベント開催による地域へのメリット及び負担
- ・地域の魅力発信
- ・多摩地域振興 (THE ROAD RACE TOKYO)
- ・都民からの支持

視点② 収入増・新たな価値創造について

- ・ブランド価値・認知度の向上
- ・THE ROAD RACE TOKYOとレインボーライドの相乗効果
- ・リピーターの獲得
- ・協賛金・参加料・放映権料の獲得
- ・海外発信の強化
- ・UCIとの連携 (THE ROAD RACE TOKYOのUCIクラス向上、UCI BIKE CITY LABELの活用)

視点③ 費用対効果について

- ・安全対策費 (人件費や資機材費等) の見直し
- ・THE ROAD RACE TOKYOとレインボーライドにおける共通経費の統合
- ・契約方法の見直し
- ・マネジメントコスト